

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 景翠会	代表者	富田 春郎	法人・事業所の特徴	金沢動物園近くの閑静な住宅街に位置しており、安全な環境のもと、四季を感じて頂ける散歩外出や、月に一度のイベントを開催しています。長きに渡りこの地域で育んできた、金沢病院グループの医療・介護の経験を活かし「地域で暮らす方々が、その人らしく、ご自宅での生活が続けられるよう」柔軟なサービスで対応させていただきます。
事業所名	けいすい小規模多機能 さとやま	管理者	吉田 広子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1 人(欠席の為書面)	4 人	人	3 人	1 人	人	2 人	人	11 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・意見を述べやすい職場環境をつくり、より良い介護技術・環境を構築する。	・ミーティング等で意見を出し合いより良い介助方法、移動方法等を話し合い実践できた。	・自己評価をしっかりと行っていることがわかりました。	・事業所自己評価を行うことで、各項目取り組みの振り返りを行い、よりよい環境整備、スキルアップの向上に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	・コロナ感染予防のためのこまめな換気を実施し、日々の消毒清掃を確実に行う。	・換気、清掃、消毒の実施により感染を予防できた。	・今現在、コロナ感染者が出ておらず、ご家族の協力にも感謝しております。	・来訪者の検温・消毒の徹底を行い、空気清浄機や加湿器による感染予防を継続する。
C. 事業所と地域のかかわり	・コロナが収束次第、地域との交流や地域の行事参加を再開し、地域とのつながりを継続する。	・コロナ収束に至らず、地域交流はできなかつた。地域の会議には参加できた。	・コロナが落ち着いたら、ボランティアを再開したり、保育園児との交流を再開したいと思います。	・地域からの苦情や意見に迅速かつ丁寧に対応し、地域との協力体制を維持・継続する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	・コロナが収束次第、イベントでの外出を再開する。また、日々のレクにおいて散歩での外出も取り入れていく。	・コロナの状況により、出来る範囲でイベント外出や散歩を取り入れることが出来た。	・コロナ禍の中、いといろと工夫されながら、ご利用者様のために活動されているので感心しています。	・理美容の利用やイベントでの外出を継続して行い、地域（在宅）での生活を支えていく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	・コロナ禍で運営推進会議が中止になった際には、さとやまの様子や情報を定期的に書面にて発信する。	・本年度は 11 月に 1 度開催する事ができ、久々にさとやまの様子をお伝えする事ができた。	・開催の際には、感染対策を入念にされていました。回覧等でもさとやまの様子を発信しました。	・地域からの情報や活動状況を把握するとともに、さとやまの様子も発信し、地域の課題等があれば一緒に取り組む。
F. 事業所の防災・災害対策	・年 2 回の消防訓練を行い、非常時の行動がとれるよう訓練する。 ・災害訓練も併せて実施する。	・5/19、11/9 に消防訓練を実施し、通報訓練（夜間・中間）、避難誘導訓練を行った。	・コロナ収束の際には、地域の方にも参加して頂きたいと思えます。	・地域の方にも協力して頂き、年 2 回の消防訓練を継続する。

